

## コロナ対策の転換期にあたって

朝夕の冷え込みは、まだまだ厳しいですが、時折、柔らかな日差しを浴びると、季節は一步一步確実に春に近づいていることを実感します。

3学期に入って2か月が過ぎ、今年は新型コロナウイルスだけでなく、3年ぶりにインフルエンザが流行し、本校でも学級閉鎖をする状況となっています。3月に入ってもインフルエンザによる欠席連絡はもうしばらく続きそうです。

一方で、社会全体では、新型コロナウイルス対策としてのマスクの着用は、3月13日から屋内・屋外を問わず個人の判断に委ねるとした上で、医療機関を受診する際や通勤ラッシュ時といった混雑した電車やバスに乗る際などには、マスクの着用を推奨するなどとした方針が出されました。学校教育の現場では、新学期となる4月1日から着用を求めないことを基本とするほか、それに先立って行われる卒業式は、その教育的意義を考慮し、児童などは着用せずに出席することを基本とするとしています。

本校においても、換気などの感染対策を講じた上で、下に示すように卒業式を実施していきたいと考えています。

○入退場、式辞等、卒業証書授与では、児童はマスクを外して差し支えないこととします。壇上で式辞等を述べる校長や来賓等も同様です。

○国歌・校歌等の斉唱、合唱および「呼びかけ」等では、マスクを着用します。

○保護者や来賓等は、マスクを着用します。

併せて、基礎疾患や感染不安などさまざまな事情でマスクの着用を希望する児童がいることを配慮し、マスクの着脱を無理強いしないようにするとともに、マスクを着けたり外したりすることで差別・偏見等の心配が起きないように指導を行っていききたいと考えています。ご家庭でも、お子様が学校生活や日常生活において、安心してマスクの着け外しができるように、お話くださいますようお願いいたします。

また、コロナ感染対策が転換される中で思うことは、子どもたちは相手の豊かに動く表情を見て、それをまねすることで相手の心を理解していくということです。NHKのある記事に次のようなことが載っていました。

「コミュニケーションの機会が減ってきている中では、周囲の大人が、意識的に表情を豊かにすることが大切。例えば、目の前にいる人がにっこり笑っている。それをマネして赤ちゃんもにっこり笑う。そして、にっこり笑うと赤ちゃんは“こんな気持ちなんだ”と自分の体を通して理解します。豊かな表情のマネのしあいは、すごく重要な学習の機会になっているわけです。」

## <3月の主な行事予定>

日	曜	学校行事
1	水	登校指導 6年生を送る会 委員会
2	木	
3	金	ふれあい班遊び さざなみ号
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	代表委員会 卒業式前窓清掃 (PTA 保健部)
8	水	若あゆ送る会 (一里山公園)
9	木	
10	金	
11	土	
12	日	
13	月	
14	火	スクールカウンセラー 9:15～13:00
15	水	スマイルタイム 卒業式予行
16	木	前日準備 給食終了 5年以外 13:15 下校
17	金	卒業証書授与式 (1～5年 家庭学習) さざなみ号
18	土	
19	日	
20	月	11:25 下校 スクールカウンセラー 9:15～13:00
21	火	春分の日
22	水	11:25 下校
23	木	大掃除② 11:25 下校
24	金	修了式 11:25 下校
25	土	
26	日	

## <4月の主な行事予定>

10	月	入学式
11	火	新任式、始業式 (予定) 1年 11:00 下校 2～6年 11:25 下校
12	水	給食開始 (2～6年生) 1年 11:15 下校 2～6年 13:10 下校
13	木	1年 11:15 下校 2～6年 13:10 下校
14	金	1年 11:15 下校 2～6年 13:10 下校
17	月	給食開始 (1年生) 1年 13:30 下校 2～6年 通常下校
18	火	分団別集会⑥ (集団下校)
24	月	個別懇談会 (～28日) 4校時日課 全学年 13:15 下校

このように、子どもの発達にとって大切だったことが3年間制限されてきたことを思うと、5類への移行や様々な緩和を機に子どもたちにとって必要な日常が戻ってくることは子どもの育ちにとって大切なことだと思っています。また、マスクを取ることに抵抗を感じたり、恥ずかしいと思ったりすることは、これもまた自然な気持ちなのかもしれません。非日常だった生活から日常に戻っていく生活の中で、子どもの気持ちをしっかりとフォローしていかなければならないと思っています。

## 第21回 瀬田北・瀬田東学区 子どもの育成を考えるつどい



2月4日（土）に瀬田北市民センターで、コロナ禍で2年間中止されていた「子どもの育成を考えるつどい」が行われました。各学年の代表として6名の東っ子が参加し、作文発表を行いました。何度も練習をしてこの日を迎えただけあって、原稿を覚えて話す姿がとても立派でした。話し終えた後には、参加者からの大きな拍手を受けていました。（写真は、表彰式の様子です。）

すべての作文を載せられるとよいのですが、紙面の関係から6年生の作文を紹介します。

学年	テーマ	内 容
1年	ゆめのファッションデザイナー	1年生ながら自分の夢を叶えるために今やっていることを書き、まるで大谷翔平選手の目標達成シートのように感心しました。
2年	感謝をつたえたい	いつも応援してくれるおばあちゃんやいろいろなことを教えてくれるお姉ちゃん、担任の先生への感謝の気持ちを届けるすばらしい内容でした。
3年	しょう来のゆめ	お母さんにあこがれて看護師になる夢を持ち、たくさんの命を救いたいという思いが詳しく書かれていて、その志の高さに感心しました。
4年	家族へのわたしの気持ち	家族への思いやりと感謝の気持ちが書かれている心温まる内容で、家族のつながりをとても大切にしているやさしい思いが伝わるすばらしい内容でした。
5年	1年を通して学んだこと	ひとつ目は「友達と協力すること」。ふたつ目は「努力をすれば最後には成果が出ること」。6年生につなげていく思いを持っていることがさすが5年生です。
6年	今までも、これからも	お母さんの言葉「努力しないと始まらない」を座右の銘にして、あきらめないで努力してきた姿勢は、大人も見習わないといけないことだと感心しました。

### 今までも これからも

ぼくの座右の銘は、「努力しないと始まらない」です。これはぼくが運動ができないことにいやになっていた時にお母さんに言われた言葉です。

ぼくがこの言葉を座右の銘に選んだのは何度も何度もこの言葉に救われたからです。ぼくは幼稚園の時に、逆上がりができなくて、もういやになり、あきらめてしまいました。でも、ぼくは逆上がりができないままにするのは心残りでした。そして、もう一度チャレンジしようかな、やめておこうかなと迷っているときに、お母さんに「努力しないと始まらないよ。」と言われたのを思い出しました。そして、ぼくはまた逆上がりの練習をし始めました。それから練習はしましたが、やっぱりできませんでした。ぼくは、何度も何度も心が折れそうになりましたが、頑張り続けました。ある日、友達に逆上がりのコツを教えてほしいと言われました。ぼくは友達に「できなくてもいい？」と聞くと、それでも教えてほしいと言われ、1回やることになりました。心の中で「無理だ。」と思いながらやってみるとなんと逆上がりができました。その時今までにないほどの達成感を味わいました。努力したからこそ、できた時の喜びがとても大きかったです。

また、2学期にぼくは東リンピックの種目である1分間前とびをしていました。ところが、基準回数である220回には、なかなか届きませんでした。それでもぼくは、「努力しないと始まらない」と、思い続けていました。何度も挑戦しましたが、220回には届きません。そして、期日ぎりぎりの昼休み、ここで失敗するともう後がない最後の挑戦で、なんと成功することができました。ぼくは、やっぱり努力しないと始まらない、そしていつかそれは報われるんだと、2つの出来事を通して実感することができました。

ぼくは、「努力しないと始まらない」をこれから行き詰った時に思い出して、どんなに険しい壁も乗り越えていきたいです。

自分の夢や思い、体験を文章にして書くことは、自分のことを振り返ったり、見つめなおしたりすることにつながります。つまり、自分は何を考え、何が好きで、どんなときに怒り、どんなときに喜ぶのだろうといったこと、つまり自分を知るための手がかりを探ることできるのが、作文を書くことだと思っています。

作文を通して、子どもたちの考えに出会うことができたとてもうれしい機会となりました。